

講義名	研究演習		
講義コード	15413	授業形態	
担当教員	三原 裕子	開講期・曜日・時間	通年 月曜日 5時限
		オンパリング・コード	SEM350
学部・学科	演習分野		
経済学部経済学科・経済情報学科	財政学、人口経済学、開発経済学		
概要説明			
<p>財政とは国の歳入と歳入の活動をいいます。国は我々国民に公共財や様々なサービスを提供しています（歳入）が、そのために我々国民から租税を徴収（歳入）しており、これらの活動は我々の生活に大きく影響を及ぼしています。</p> <p>歳入の例としては、公園や学校さらには社会保障（年金制度、生活保護や育児支援制度など）があり、歳入は消費税や所得税、法人税などがあります。</p> <p>このゼミでは、我々が暮らす社会に財政および人口がどのように影響をおよぼし、さらには社会が抱える諸問題を財政はどう解決できるのかについて研究を行います。</p> <p>卒業研究では研究演習IIにて取り組んできた各自テーマについて、卒業論文の執筆を行います。</p>			
主な卒業論文のタイトル			
<p>*過去の卒業研究の一例（2018年～2020年度は卒業研究は担当せず）</p> <p>2011年 財政破綻回避の方法と国債発行 - 日銀引き受けと市中消化 -</p> <p>2012年 日本格差社会 - 親の所得格差から子どもの教育格差 -</p> <p>2013年 少子高齢化社会における高齢者雇用 - 高齢者雇用の問題点 -</p> <p>2014年 混合診療と医療保障制度 - 混合診療の解禁による厚生への改善を目指して -</p> <p>2015年 労働インセンティブと職業訓練 - 貧困の削減 -</p> <p>2016年 少子高齢化が世代間の資源配分に与える影響</p> <p>2017年 YouTube! はなぜ将来の夢になりえたのか - 子どもとSNSの関係、女性の社会進出から理由を探る -</p> <p>2021年 若者が神戸を訪れたい、帰りたい、定住したいと思える地域にするには</p>			
教員からの要望			
<p>皆さんはもしかすると現在の生活をあまり不自由に感じていないかもしれませんが、しかし、就職、結婚、子育て、、、というように、皆さんはこの先これまでに経験していない様々なイベントに直面することになるはずです。</p> <p>どのようなイベントに直面しているかで、どのような支援が必要になるかが異なります。</p> <p>社会に出る前に、もう少し先の将来の事について想像を膨らませてみてください。それは新聞を読んだり、通学途中に出会う様々な人々を観察したり、様々な方法があるはずです。</p> <p>ゼミでは不器用だけれども一生懸命頑張ってみたい! という人を歓迎します。</p>			
選考方法			
書類と面接にて選考を行います。特に、(1)当ゼミに参加したい、(2)取り組みたいテーマがはっきりしている、という熱意のある学生を優先します。必ずゼミ訪問を行ってください。			

評価方法	
出席状況、ゼミ活動への積極性、により評価します	
教員英字氏名	研究室
Mihara Yuko	研究棟2 6階 研究室2611
最終学歴	
大阪市立大学 経済学研究科 後期博士課程	
学位	
博士（経済学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
研究テーマ：少子高齢化、貧困、出生行動	
<p>主な業績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親の要介護の程度と公的介護保険制度」、『応用経済学研究』,第5巻,40-54頁,2011 ・"Relationship between Family Care and Public Care Services for the Elderly",Modern Economy,vol.6, pp.948-953,2015 ・"Effects of Public Health Investment on Economic Development through Fertility",Macroeconomic Dynamics vol.20, no.5, pp.1341-1358,2016 	
趣味・特技	
登山が大好きです	
所属	
経済学部経済学科	
所属学会	
日本財政学会 日本経済学会 日本応用経済学会 日本経済政策学会	
専門分野	
財政学、開発経済学、人口経済学	
担当科目	
財政学、地方財政論、経済数学、経済特講（経済学科へのいざない）、基礎能力（新聞を読む）、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究、	
備考	
毎回の出席と課題の提出については意識を持って行ってください。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験なし	